記者発表資料

平成２６年１月７日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第３回定例会議（１２月１７日）の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２５年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第３回定例会議が、１２月１７日（火）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　佐藤（さとう）　豊（ゆたか）（内線６２２１）

経理調達課課長補佐　佐藤（さとう）　浩正（ひろまさ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）第３回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成２５年１２月１７日（火）　東北地方整備局会議室		
委員	部会長　貝山　道博　（埼玉大学　名誉教授） 部会長代理　齊藤　幸治　（弁護士） 委　員　高橋　敏彦　（東北工業大学　工学部教授）		
審議対象期間	平成２５年　７月　１日～平成２５年　９月３０日		
審議案件	総件数　６件	〈備考〉	
工事 一般競争入札（WTO対象）	１件	（１）工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 （２）指名停止措置の運用状況 （３）談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 （４）再度入札における一位不動状況 （５）低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工事 一般競争入札（WTO対象外）	２件		
工事 工事希望型競争入札	０件		
工事 工事希望型以外の指名競争入札	０件		
工事 随意契約	０件		
建設コンサルタント業務等	２件		
役務の提供等及び物品の製造等	１件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）第３回定例会議審議概要

審　議　案　件　　工　事　概　要　書

	入札・契約方式	工　事　名	工事種別	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争入札 （ＷＴＯ対象）	相馬港本港地区防波堤(沖)(災害復旧)築造工事	港湾土木工事	3,586,800	4者	4者
2	一般競争入札 （ＷＴＯ対象外）	宮古港竜神崎地区防波堤消波工事	港湾土木工事	257,250	1者	1者
3	一般競争入札 （ＷＴＯ対象外）	酒田港北港地区防波堤(北)(改良)消波工事	港湾土木工事	179,550	12者	10者

審議案件　建設コンサルタント業務等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務区分	契約金額 （単位：千円）	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数
4	簡易公募型競争	大船渡港環境保全検討業務	建設コンサルタント等	22,050	1者	1者
5	簡易公募型 プロポーザル	東北地域における地震・津波対策検討業務	建設コンサルタント等	14,070	1者	1者

審議案件　役務の提供等及び物品の製造等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務分類	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争入札	移動式書庫外30点購入	物品の販売	1,172	5者	5者

別　　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・ 特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・工期内の履行が困難な状況だということで契約解除しているが、解除すればさらに工期がおくれることとなるが、なぜこのような申し出がでてきたのか。	現場代理人の継続的配置が困難となったことが、理由のひとつだと聞いております。
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・特になし	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし	

	意見・質問	回　　答
2-1	審議 「相馬港本港地区防波堤(沖)(災害復旧)築造工事」	
	応札額が一番低かった業者の施工体制評価点が０点なのはなぜか。	当該応札額が調査基準価格を下回ったことから、追加資料の提出を求めたものの、提出を辞退したことから、入札が無効となり、０点となったものです。
	調査基準価格を下回った業者が説明資料を提出してこないのは一般的なのか。	一般的です。
	無効になった者には、相馬港での災害復旧工事の受注実績はあるのか。	あります。
	施工体制評価点は開札前に点数がつくのではないのか。	そうではありません。施工体制評価点は開札後につき、加算点は開札前につきます。
	１者だけ加算点が低いが、それはどんな理由か。	施工上配慮すべき事項を評価した結果です。
	落札率が９０.08%だが、どのように考えているか。	高い率ではないと考えています。
	入札価格が調査基準価格を上回っている３者が団子状態になっているが、どの者が見積もっても似たような額になるのか。	積算基準や単価の公表、入札参加業者への金抜き設計書の提供などから、精度の高い積算が可能であり、このような結果になったものと思われます。
	年度末工期となっているが、工期の延長が必要となる場合はどうするのか。	財務省に説明をし、繰越承認をいただいてから工期延長の契約手続きを行うこととなります。
2-2	審議 「宮古港竜神崎地区防波堤消波工事」	
	対象業者数は多いが、入札参加者が１者というのは、どのような理由が考えられるか。	入札説明資料をダウンロードした者のうち、施工実績を有しながら参加しなかった２者に落札決定後にヒアリングしたところ、技術者の手配ができないということでした。 国だけでなく、岩手県等地元発注の復旧工事が本格化してきていることから、このような状況が生じていると思われます。
	契約額が小さく利益が少ないということで参加者が１者なのか。	やはり技術者の手配をできないことが要因と思われます。
	コンクリートブロックの製作に廃材・海水を利用したものがあると聞いたが、この工事はそういう工法を使った工事なのか。また、そういう工事は行わないのか。	この工事で用いたコンクリートは従来の一般的なものです。国でも試験施工として行った実績はありますが、まだ通常の工事では採用していません。
	落札率が高いのはなぜか。	消波工事は施工が単純な工事であり、過去の同種工事の積算内訳も公開していることから、予定価格を推定しやすいと思われます。被災地という状況から、工事の発注件数が多く、資材及び人件費が高くなってきていることから、利益が出る価格で応札してきた結果だと思われます。

	意見・質問	回　　答
2-3	審議 「酒田港北港地区防波堤(北)(改良)消波工事」 本案件の前の案件も消波工事だが、前の案件の落札率は高いのに、本件が低いのはなぜか。 調査基準価格は、予定価格に定率を乗じて算出するものなのか。また、調査基準価格の計算方法や率は、公表されているのか。	 工事として単純であることは同じですが、復旧工事が多数発注されている太平洋側と異なり、本件は、工事の発注件数も少ない日本海側であること、また、資材や人件費の高騰化もそれほど見込まれないことから、調査基準価格に近い額での入札になっていると思われます。 調査基準価格は、積算の内訳である「直接工事費」「共通仮設費」「現場管理費」「一般管理費等」に各要素ごとに定められた率を乗じたものの合算額です。工事内容により異なりますが、予定価格のだいたい87～90%となっております。また、この方法は公表されています。
2-4	審議 「大船渡港環境保全検討業務」 入札参加者が１者というのは、どのような理由が考えられるか。 この調査は、設計に影響を及ぼすのか。 陸と防波堤の間が空いているが、このような構造で津波対策は大丈夫か。	 入札説明資料をダウンロードした者のうち、業務実績を有しながら参加しなかった８者に、落札決定後にヒアリングしたところ、地元を主体とした委員会運営等の業務内容から参加しないことにしたとの回答でした。 設計は既に行っており、本調査は防波堤完成後の長期的な環境変化のデータ収集の仕方、効果的なモニタリング方法を検討する業務であり、今後の地元への説明や工事実施による環境面への効果の把握に生かしていくことになります。 この構造でシミュレーションを行い、背後の防潮堤の高さを決めるなどの対策を講じており問題はありません。
2-5	審議 「東北地域における地震・津波対策検討業務」 見積額の下げ幅が20万円刻みとなっているが、もっと細かく刻んで何度も見積もり合わせを行っても問題はないか。 参加表明提出者が１者というのは、どのような理由が考えられるか。 昨年度も設計共同体の受注なのか。 設計共同体で入札参加するメリットは何か。	 本件はプロポーザルで選定された１者との間の随意契約であることから、問題はありません。 入札説明書をダウンロードした者のうち、業務実績を有しながら参加しなかった複数の者に、落札決定後にヒアリングを行ったところ、委員会運営等に対応できないという回答が多くありました。 本業務は昨年度も発注しており継続的な業務であることから、昨年度の受注者以外の者が敬遠したということも考えられます。 昨年度は単体での受注です。 お互いの得意な分野が補完しあえることです。
2-6	審議 「移動式書庫外30点購入」 メーカー、型式等を指定して発注しているのか。 メーカー等を特定しないと、低品質のものが納入されるのではないか。 物品は、一品一品、購入するというやり方ではないのか。	 指定ではなく、同等品相当ということで発注しています。 今回、納品されたものについては低品質ということはありませんでした。 通常は、一括で購入しています。